

ケーブル技術ショー2021 新型コロナウイルス（COVID-19）感染防止のための対応指針

「ケーブル技術ショー2021」は、2021年6月3日（木）～4日（金）までの2日間、東京国際フォーラムホールEを会場として開催致します。

本展示会では、東京都が発表した「新型コロナウイルス感染症防止の基本方針」および展示会業界団体である一般社団法人日本展示会協会が提示したガイドライン（2021年2月17日改訂）に沿って、「ケーブル技術ショー2021」開催における『新型コロナウイルス感染防止のための対応指針』を作成致しました。

特に新型コロナウイルス感染拡大のリスクが高いと考えられる、①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話が発生する密接場面の発生防止に重点をおいています。

■東京都防災ホームページ「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」

<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1009757/index.html>

■（一社）日本展示会協会「展示会業界におけるCOVID-19感染拡大予防ガイドラインの第三次改訂版」

https://www.nittenkyo.ne.jp/shr/document/210217_guideline4.pdf

「ケーブル技術ショー2021」は、しっかりとした感染防止策を講じた上で開催を致します。

1. 全体の実施事項について

- ① 出展者、来場者、主催関係者など全ての関係者の事前登録を徹底致します。
- ② 会場入口にて非接触体温計を設置し、体温チェックをします。37.5度以上の熱のある方の入場をお断りします。
- ③ 会場内各所に手指消毒液を設置し、消毒を徹底します。（会場出入口、商談コーナーなど）
- ④ 会場内は、スタッフがこまめに消毒を行います。トイレ、エレベーターなど共用部は、施設側（東京国際フォーラム）が消毒を徹底します。
- ⑤ 会場内では、マスクの着用を徹底致します。お持ちでない方は入場できません。
- ⑥ 東京都の発表したイベント開催制限（人数上限・収容率等）に基づいて来場者の入退場管理を行います。各展示会場の入口・出口で人数のカウントを行い、最大同時入場者数の管理を行います。（最大同時入場者数をこえた場合は、入場制限を実施します。）
- ⑦ 東京国際フォーラム B2F に救護室を設置し、傷病者の対応のため看護師が常駐いたします。「風邪の症状、37.5度以上の熱、倦怠感（強いだるさ）、呼吸困難（息苦しい）」などの症状がある方については入場をお断りし、医療機関等の診断を促します。

ただし、自立歩行が困難など重症と認められる場合は、主催者が会場である東京国際フォーラムに連絡するとともに、東京国際フォーラムが定める手順に従い所定の救護室へ搬送します。東京国際フォーラム、主催者立ち合いのもと患者の健康状態を確認し、所轄の帰国者・接触者電話相談センター等

に連絡し、受入病院の確認や救急車の要請等を行います。患者が搬送された後は、主催者が帰国者・接触者電話相談センター等に消毒等の対応を確認し、東京国際フォーラムとともに適切な処置を行います。

- ⑧ 換気を徹底します。開けられるドアや窓は可能な限り開放するとともに、会場の換気システムを併用し、換気を徹底します。
- ⑨ 感染症に対する注意喚起を場内アナウンスやサイン看板により徹底します。
- ⑩ ソーシャルディスタンスを考慮し、会場内通路は3mを目安に確保します。
- ⑪ 資料などの手渡しは極力避け、非接触の取り組みを推奨します。
- ⑫ 密が予想されるため、喫煙所を設置いたしません。

2. ご出展の皆様へのお願い

- ① ご出展者の皆様は、会期中に会場入りされる社員やスタッフの日別の名簿（氏名・連絡先）を作成し、開催終了日から3週間保管してください。感染症発生時には、保健所等の公的機関への提出が求められる場合があります。予め社員・スタッフの皆様への周知をお願いします。
- ② 社員・スタッフの防護具（マスク・フェースシールドなど）や消毒液の設置、利用を徹底してください。
- ③ ご来場時には、事前にお手持ちの携帯電話に「接触確認アプリ(COCoA)」をインストールいただき稼働させてください（会場内ではBluetoothをONにしてください）。または、東京都版新型コロナ見守りサービス（都立施設入館システム、LINE 新型コロナ対策パーソナルサポート）の利用をお願いします。
- ④ ブース内が密にならないような人員配置をご計画ください。
- ⑤ ブース施工を行う際は、換気を妨げるようなデザインは避けるよう、ご協力ください。
- ⑥ 商談の際、新型コロナウイルス感染拡大防止用品をご利用ください。事務局でもリース備品としてご用意します。
- ⑦ 会場入りの際、会場入口の非接触体温計で体温チェック致します。37.5度以上の発熱のある方の入場をお断りします。
- ⑧ 以下の方々は、来場をお控えください。
 - a) 37.5度以上の発熱がある方
 - b) 咳・咽頭痛・息苦しさの症状が認められる方
 - c) 保健所等の健康観察下にある方
 - d) 政府が指定する期間に海外渡航歴のある方（当該期間に帰国した方と接触した方も含む）その他、体調の優れない方（味覚・嗅覚異常、強い疲労倦怠感など）
- ⑨ 会期終了後も含め、自社ブース内で関係者の新型コロナウイルス感染症が発覚した場合は、主催者にご連絡ください。

3. ご来場の皆様へのお願い

- ① 事前登録を徹底します。
 - ⇒ 感染者が発生した場合に備え、個人情報の登録（氏名と連絡先）を必須とします。
 - ⇒ 必要に応じて、個人情報を保健所等の公的機関へ提出する場合があります。あらかじめご了承ください。

- ② 受付・入場の際の接触・密を避けるため、事前登録による QR コード 対応の受付システムを導入します。これにより、従来の有人受付カウンターでの接触を大幅に縮小します。会場では有人登録カウンターは設置しません。事前登録の上、入場証をプリントアウトしてお持ちください。
- ③ マスクの着用をお願いします。マスクを着用していない方は入場できません。
- ④ ご入場の際は、会場入口の非接触体温計で、体温チェックをします。37.5 度以上の発熱のある方の入場をお断りします。
- ⑤ ご入場の際は、手指の消毒をお願いします。
- ⑩ ご来場時には、事前にお手持ちの携帯電話に「接触確認アプリ (COCOA)」をインストールいただき稼働させてください（会場内では Bluetooth を ON にしてください）。または、東京都版新型コロナ見守りサービス（都立施設入館システム、LINE 新型コロナ対策パーソナルサポート）の利用をお願いします。
- ⑥ 以下の方々は、ご来場をお控えください。
 - a) 37.5 度以上の発熱がある方
 - b) 咳・咽頭痛・息苦しさの症状が認められる方
 - c) 保健所等の健康観察下にある方
 - d) 政府が指定する期間に海外渡航歴のある方（当該期間に帰国した方と接触した方も含む）
 - e) その他、体調の優れない方（味覚・嗅覚異常、強い疲労倦怠感など）

4. 事務局関係者及びスタッフの対応について

- ① 主催者および協力会社全てのスタッフリストを作成し、会場への出入りを把握します。
- ② すべてのスタッフにマスクの着用を義務付けます。
- ③ 接触の可能性がある受付などのスタッフは、フェースシールドと手袋の着用を義務付けます。
- ④ 毎朝の体温測定と健康チェックを徹底します。
- ⑤ 以下の者の勤務を禁じます。
 - a) 37.5 度以上の発熱がある者
 - b) 咳・咽頭痛・息苦しさの症状が認められる者
 - c) 保健所等の健康観察下にある者
 - d) 政府が指定する期間に海外渡航歴のある者（当該期間に帰国した方と接触した者も含む）
 - e) その他、体調の優れない者（味覚・嗅覚異常、強い疲労倦怠感など）
- ⑥ 全てのスタッフの手持ちの携帯電話で「接触確認アプリ (COCOA)」を稼働させます。また、Bluetooth を ON にします。

5. セミナー会場での実施事項

- ① 事前登録を徹底します。
 - ⇒ 感染者が発生した場合に備え、個人情報登録（氏名と連絡先）を必須とします。
 - ⇒ 緊急連絡先として、メールアドレスもしくは電話番号を必ず登録していただきます。
- ② セミナー会場に入場の際は、マスクの着用、検温、手指の消毒を行います。

- ③ セミナー参加者の手持ちの携帯電話で「接触確認アプリ(COCoA)」を稼働していただきます。また、BluetoothをONにしていただきます。または、都立施設入館システム、LINE 新型コロナ対策パーソナルサポートの利用をお願いします。
- ④ セミナー聴講定員は、東京都の発表したイベント開催制限（人数上限・収容率等）に従い設定します。
- ⑤ 登壇者の演台に飛沫防止のシールドを設置、または登壇者と聴講最前列の距離は2 m空けます。
- ⑥ セミナー会場は、密閉防止策としてドアの開放による換気を行います。
- ⑦ セミナー開始前にテーブルやイスなどの高頻度接触部位の消毒を徹底して行います。

6. 飲食店・売店・休憩所での実施事項

- ① 会場である東京国際フォーラム常設のレストランや売店につきましては、東京国際フォーラムならびに各店舗側で感染拡大防止に努めます。
- ② 主催者が設ける会場内休憩所のテーブルやイスについては、対面席をなくし、テーブル上に飛沫を防ぐ仕切りの衝立を設けるなどの工夫を施します。会場内休憩所、商談コーナーのテーブルやイスなどの高頻度接触部位の消毒を徹底して行います。
- ③ 主催者が設ける会場内休憩所での食事は禁止します。

※接触確認アプリ(COCoA)について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html

※東京版新型コロナ見守りサービス

(都立施設入館システム、LINE 新型コロナ対策パーソナルサポート) について

<https://www.senryaku.metro.tokyo.lg.jp/ict/mimamori.html>

主催者は、本展の開催に際しては、ご出展・ご来場の皆様をはじめ、全ての関係者の安全・安心を第一に考えて、万全な対策を講じて参ります。これらの施策は、感染状況に応じ、政府、東京都ならびに会場である東京国際フォーラムから示されるガイドラインに沿って、修正・改訂してまいります。ご出展・ご来場の皆様には、ホームページやメールマガジンなどでお知らせします。ご不明な点などがございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

今後とも、開催に向け、皆様のご支援ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

お問い合わせは

ケーブル技術ショー事務局（株式会社日経イベント・プロ）

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町1丁目2番5号 JR 神田万世橋ビル 16階

TEL：03-6812-8653（対応時間：平日 10時—17時）

e-mail：sec@catv-f.com